

募集要項

◆価格：1名 275,000円（税込み、本体250,000円）＜テキスト、昼食、飲み物、懇親会費等、一切を含みます。＞

★企業のものづくり現場で、**大凡10年以上のご経験**を持つ方を対象としております。

★現場経験のない方も受付けますが、講義は現場経験者レベルの内容ですのでご了承ください。

※テキストとしてプリントの他、藤本隆宏監修「ものづくり改善入門」(中央経済社)を差し上げます。

★MKNセミナー会員、地域ものづくりスクール連絡会、開かれたものづくり研究会の各会員は

11,000円割引いたします。1名**264,000円**(本体240,000円)

(インターネット動画会員のみの方は、割引対象にはなりませんのでご了承ください。)

申込み方法

◆下記いずれかの方法でお申込みください。

① 下の申込書にご記入の上、ファクシミリ(03-5210-2560)へご送信、又はご郵送ください。

② インターネットからのお申込みは、(一社)ものづくり改善ネットワークのWebサイト<http://mkn.or.jp>内にあるセミナー申込ページ

http://www.mkn.or.jp/Seminar_form.html

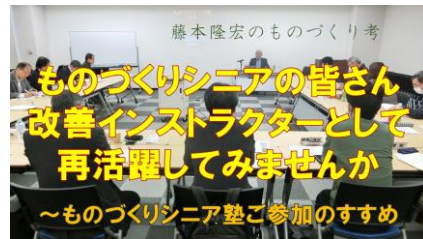
に必要事項をご入力の上、ご送信

ください。折り返し確認メールをご

送付し、請求書等を郵送いたします。



開催場所略図



ものづくりシニア塾のおすすめをYouTubeでご覧いただけます。藤本先生がシニア塾開校への想いを語っています。右のQRコードあるいは弊社ホームページものづくりシニア塾のページ <https://www.mkn.or.jp/senior.html> からも見いただけます。



一般社団法人 **ものづくり改善ネットワーク**

〒102-0085 東京都千代田区六番町6 勝永六番町ビル1F
TEL(03)5210-2561 FAX(03)5210-2560 Mail: admin@mkn.or.jp
URL: <https://mkn.or.jp>

ふりがな				年齢
氏 名				
略 歴 (元職・会社名・ 職務経歴・年数 など簡単にご記 入ください)				
ご連絡先	〒	TEL		
		FAX		
E-mail				

⇒申し込み専用Fax No 03-5210-2560

(一社)ものづくり改善ネットワーク特別講座のご案内

第12期

ものづくりシニア塾

企業のものづくり現場で永年経験を積まれて定年等で退職された方、あるいは定年後にもものづくりの改善指導を志している皆様に、業種も規模も違う製造現場でも指導できる「良い流れ作り」の知識を学んで頂き、ものづくり改善インストラクターとして地域スクールインストラクター、ものづくりコンサルタントとして再生、活躍していただくための講座です。
長期講座で同じ志を持つ良い仲間作りもできます。

開催日時:2025年1月11日(土)～3月22日(土)

毎週土曜日＝全11日間＝各日とも10:30～17:00

開催場所:勝永六番町ビル 1階 会議室

東京都千代田区六番町6 (四ッ谷駅、市ヶ谷駅各徒歩5分)



主催：一般社団法人 **ものづくり改善ネットワーク**

申
込
書

◆スケジュールとカリキュラム◆

1日目	1月	11日(土)	①	10:30～12:20	開講式～受講者自己紹介	藤本教授挨拶～はじめに	藤本
			②	13:10～15:00	ものづくりとは？	～よい設計のよい流れ	藤本
			③	15:10～17:00	流れを見切る	～プロセス分析	藤本
2日目		18日(土)	④	10:30～12:20	現場の作業を分析する	～IEの基礎と活用	伊藤
			⑤	13:10～15:00	標準を決める	～標準作業と標準時間の設定	伊藤
			⑥	15:10～17:00	作業のムダを排除する	～作業改善で原価低減へ	伊藤
3日目		25日(土)	⑦	10:30～12:20	コストをつかむ	～原価管理と原価改善	藤本
			⑧	13:10～15:00	生産性を知る	～付加価値作業比率	藤本
			⑨	15:10～17:00	生産性を高める	～IEの基礎知識	藤本
4日目	2月	1日(土)	⑩	10:30～12:20	コミュニケーションのすすめ方	～聴く技術、伝える技術	福田
			⑪	13:10～15:00	人を動かす	～やる気にさせるインストラクターの技術	福田
			⑫	15:10～17:00	発表の技術	～プレゼンテーションの基本	福田
5日目		8日(土)	⑬	10:30～12:20	全体最適のマネジメント理論	～TOCとは何か	飛田
			⑭	13:10～15:00	問題解決ワークショップ(1)	～問題を正しくとらえる	飛田
			⑮	15:10～17:00	問題解決ワークショップ(2)	～問題を解決する	飛田
6日目		15日(土)	⑯	10:30～12:20	流れの良し悪しを知る	～納期とリードタイム	藤本
			⑰	13:10～15:00	流れを管理する	～日程管理と資材所要量管理	藤本
			⑱	15:10～17:00	在庫を減らす	～かんばん方式と順序供給	藤本
7日目		22日(土)	⑲	10:30～12:20	ものと情報の流れ図とは	～Value Stream Mapの活用と効用	国谷
			⑳	13:10～15:00	ものと情報の流れ図を書いてみよう	～ものと情報の流れ図の作り方と実習	国谷
			㉑	15:10～17:00	よどみのない流れを作る	～ポストイットを使って課題を発見する	国谷
8日目	3月	1日(土)	㉒	10:30～12:20	品質を測る	～製造品質と不良率	藤本
			㉓	13:10～15:00	品質を作り込む	～検査とTQM	藤本
			㉔	15:10～17:00	柔軟に作る	～フレキシビリティ管理	藤本
9日目		8日(土)	㉕	10:30～12:20	品質を管理する	～品質の見える化、予防と解析	景山
			㉖	13:10～15:00	問題解決を理解する	～QC7つ道具の基礎と活用	景山
			㉗	15:10～17:00	目で見る管理を進める	～良い流れをつくる見る管理とは	景山
10日目		15日(土)	㉘	10:30～12:20	現場改善の事例と進め方	～現場改善コンサルティングの実際	小森
			㉙	13:10～15:00	DXによる日本の製造業の競争力強化	～IEとDXの融合は日本企業のDX成功の要件	一力
			㉚	15:10～17:00	現場改善インストラクターの指導事例	～ものづくりシニア塾修了後の活動	岡本
11日目		22日(土)	㉛	10:30～12:20	製品開発の流れをつかむ	～新製品の企画・設計と開発リードタイム	藤本
			㉜	13:10～15:00	よい設計を創る	～総合商品力の向上	藤本
			㉝	15:10～19:00	修了式	(修了証授与／懇親会)	藤本

◆第1日目終了後(17:30～19:30)に歓迎会、最終日修了式後に懇親会を予定しております。

★ものづくりシニア塾は、2014年より毎年1回開催、今回が第12期となり、2024年までに132名の修了生を輩出しております。修了生は、自社の現場改善を始め、各地のものづくり改善インストラクタースクールの講師、中小企業への現場改善指導インストラクター、海外(韓国)への派遣インストラクター等として活躍しています。



※当講座修了後の派遣 斡旋を保証するものではありません。

講師陣紹介(講義順)

■藤本 隆宏



早稲田大学教授／東京大学名誉教授／(一社)ものづくり改善ネットワーク代表理事

1979年東京大学経済学部卒業、三菱総合研究所入社、1984年ハーバード大学ビジネススクール博士課程入学、1989年博士号取得、1998年東京大学大学院経済学研究科教授、2002年日本学士院賞/恩賜賞受賞、2004年ものづくり経営研究センターセンター長、2013年一般社団法人ものづくり改善ネットワーク代表理事、2021年3月東京大学定年退職。4月より早稲田大学ビジネススクール教授、東京大学名誉教授
2005年よりものづくり経営研究センターにて「ものづくりインストラクター養成スクール」を開講、17年間で160名余の修了生を輩出。2013年に(一社)ものづくり改善ネットワークを設立、代表理事に就任。各地域スクールの普及とネットワーク作りに尽力。ものづくり現場のOBのために2014年より本講座を開講。
主要著書:『製品開発力』キム・クラークと共著、ダイヤモンド社／『現場から見上げる企業戦略論』角川新書／『ものづくり改善入門』監修、中央経済社／『ビジネス・アーキテクチャ』武石彰・青島矢一と共編著、有斐閣／『生産マネジメント入門(DIⅡ)』日本経済新聞社／『能力構築競争』中公新書／『日本のもの造り哲学』日本経済新聞社／『現場主義の競争戦略』新潮新書／『ものづくりの反撃』中沢孝夫・新宅純二郎と共著、ちくま新書／『工場史』編著、有斐閣 他

■伊藤 雄三

NPO法人 ワイ・リサーチ・イノベーション代表理事 1982年米国系メンブランフィルター精密ろ過・精製機器の日本法人(現インテグリスジャパン)設立メンバーにて入社。工場経営、システム全般、Lean生産の実践を行い最終職位代表取締役社長。2014年「ものづくり夢みらい研究所」を設立、全国のものづくり人材育成スクールにて講師を担当。2017年産学官連携NPO法人「YRI」代表理事、2018年～2022年山形大学教授を兼任。ものづくりシニア塾第1期生。専門は、経営全般、リーン生産方式、品質管理、管理会計、ITシステムなど広範囲にわたる。



■福田 隆二

セミナー企画開催業務並びに企業内研修の企画、コンサルティング、講師派遣業務、出版編集等の会社を36年間経営。東京大学大学院ものづくり経営研究センター特任研究員として、「ものづくりインストラクター養成スクール」「ものづくり寄席」の開催に携わる。現在、(一社)人材開発支援協会でプロデューサーとして研修・知的イベントコーディネーターとして企画、運営、講師育成、講座開発など多面的に活躍中。2013年より(一社)ものづくり改善ネットワーク理事/事務局長として全国の地域ものづくりスクールのサポート、MKNセミナー、地域ものづくりスクール連絡会、ものづくりシニア塾等の企画・運営に携わっている。



■飛田 甲次郎

ゴールドドラット ジャパン パートナー 元オムロン株式会社執行役員常務。産機コンボ統轄事業長、Omron Europe President &CEO、ものづくり革新本部部長などを歴任。また社外では、関西IE協会副会長、日本電機工業会大阪支部長、関西電気保安協会評議員、日本経営工学会関西支部長なども歴任。全体最適のマネジメントサイエンスであるTOC(Theory Of Constraint:制約理論)に共鳴して、日系企業へのTOCの実践と普及にセカンドライフをかける。全体最適のマネジメントサイエンスを取り入れることが「失われた20年」を取り戻し、自信と活力溢れる日本企業になることに繋がると確信している。生産領域に留まらず、事業企画、商品開発、国内外販売など幅広い経験をもとに、TOCの最新知識をゆっくりと、分かりやすく説明することに定評がある。立命館大学、関西大学でのゲストスピーカー、幸田町、東京都などの地域ものづくりスクールの講師も務める。



■国谷 晃雄

キャノン(株)取手工場生産技術部長として事務機製造の基礎作りを推進、またキャノンの生産革新導入に対する基礎作りを行った。その後中国の事務機工場長を務めた。
東京大学ものづくりインストラクター養成スクールを修了(1期)。現在は国内外で工場革新活動を指導し、ものと情報の流れ図を活用した改善指導で効果を上げている。
ものづくりインストラクターとして、東京大学ものづくりインストラクター養成スクールをはじめ茨城、東京都、信州など全国の地域インストラクター養成講座の講師。2022年度にはものづくりシニア塾修了生のための現場改善研修会の講師を務めた。



■景山 幸郎

1974年キャノン(株)入社、取手工場、阿見工場で事務機・ファクシミリの生産管理業務を担当の後、86年～97年キャノン・ブルターニュ社(キャノン フランス生産会社)工場長、98年～2001年キャノン・マニユファクチュリングUK社(キャノン UK生産会社)社長、01年～11年キャノン・ベトナム社(キャノン ベトナム生産会社)社長、11年～14年キャノン本社ものづくり統括本部部長常務執行役員、14年～16年キャノン電子(株)CPS推進センター所長常務執行役員を歴任。2016年退社。ものづくりシニア塾一期生として受講後、MKNの海外及び日本各地の現場改善活動に協力。



■小森 治

株式会社カイゼン・マイスター 代表取締役社長 トヨタ自動車(株)出身、英国トヨタ副社長、豪州トヨタ社長、本社理事等を歴任した後、セントラル自動車(株)社長を経て、2007年に㈱カイゼン・マイスターを設立、代表取締役としてセントラル自動車時代の仲間とともに全国の中小企業の現場コンサルタント、インストラクターとして製造業のみならず事務改善など幅広い分野で数多くの実績を上げている。著書は、『トヨタから学んだ本当のカイゼン』(日刊工業新聞社)、『カイゼン・リーダー育成塾』(日刊工業新聞社)など



■一力 知一

1999年に松下電器(現パナソニック)に入社以来、データベースシステム開発、工場オペレーション(製造系基幹システム導入PJ)、経営企画、IoTによるスマートファクトリー構築などの幅広い職務に従事することで豊富な経験と専門スキルを保有し現場視点、経営視点、システム視点、データ活用視点など経営効果を出すために必要な複数の視点からの取り組みを行っている。
現在は「IE(Industry Engineering)とDX(Digital Transformation)の融合による経営オペレーション変革」を中核とするデータを活用するデジタル駆動型経営オペレーション構築の新規事業を2018年に立ち上げ、2022年よりパナソニック コネクトにおいてエバンジェリストおよびコンサルタントのリーダーとして事業を牽引する。また、2022年より京都女子大学 データサイエンス学部の客員教授も務めている。



■岡本 弘

1983年サンスター技研株式会社に入社。自動車、建材、電子部品用途の産業用接合剤、シール材の研究開発部門に所属。品質保証、生産技術部門および、人事企画部門を経て2007年に、同山梨工場長に就任。生産、・技術部門担当執行役員を経て2017年退職。同年 第4期ものづくりシニア塾を修了。ものづくり改善ネットワークやコンサルティング機関および自主活動を通して、流れ改善による稼働率の向上や改善の基礎学習支援を中心に複数企業の現場改善に携わっている。

